

5 明倫短期大学歯科衛生士学科2年生のiPad利用状況 —ICTツール導入による学生満足度—

○平澤明美, 飛田 滋, 植木一範, 中静久美子, 森田知治

明倫短期大学 ICTプロジェクト

keywords : iPad, 歯科衛生士, ICT教育, 学生満足度

はじめに

平成25年度よりICTツールを段階的に教材に導入することにより, 教育の効率化と学生の満足度を向上させ, かつ学生・大学の経済的負担を軽減する目的で, ICTプロジェクトが新設された。プロジェクト進行中の平成26年2月に文部科学省の私立大学等教育研究活性化設備整備事業に採択され, 現歯科衛生士学科2年生47名にiPad Airを1台貸与し, 26年4月より一部学科目において, PDFデータとiTune U動画のコンテンツを配信し教育の効率化を目指した。

前期授業が終了した時点で利用状況と学生の満足度を調査した。

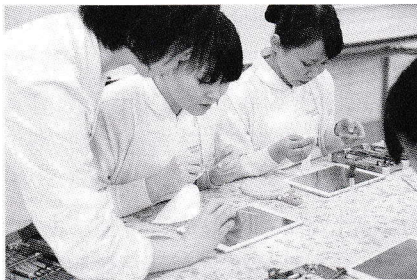


図1 実習時のiPad使用風景

対象および方法

対象：明倫短期大学歯科衛生士学科2年生47名

方法：質問紙調査法による無記名・選択式7項目, 自由記載2項目の調査を平成26年9月に実施した。

結果および考察

1. iPadの講義時の有用性

口腔外科学・歯科麻酔学や歯周病予防処置実習Ⅱなどの科目でiPadに教材を配布した。調査した47名中, 十分に役立った25名(53.2%), 少しは役立った18名(38.3%)で, ほとんどの学生が有用であった

と答えた。(図2) どちらともいえない3名(6.4%), 役に立たない1名(2.1%)の理由として, 配布データがわかりづらい, 繰り返しみられないなどを上げていた。

2. iPadの実習時の有用性

歯周病予防処置実習Ⅱや歯科診療補助実習Ⅱなどの科目でデモンストレーションの動画などを配信した。十分に役立った28名(59.6%), 少しは役立った15名(31.9%)で, どちらともいえない4名(8.5%)で, 役に立たないはいなかった。(図3)役に立った理由として, 繰り返しみる事ができた38名(80.8%), 学外でもみる事ができた22名(46.8%)であった。

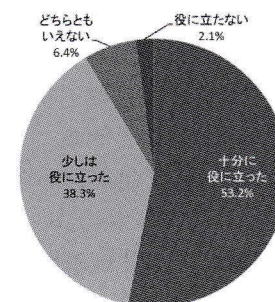


図2 iPadの講義時の有用性

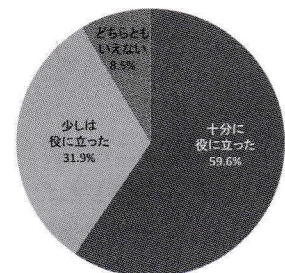


図3 iPadの実習時の有用性

3. 講義・実習以外のiPad利用

調査した45名中, 利用項目としては授業予定の確認45名(100%), ゲームやSNSなど33名(73.3%)の個人的な利用もしていた。また, 利用時間は昼休みを含む休憩時間, 夕方(放課後~20時), 夜間(20~23時)の時間帯に半数の学生が利用していた。

まとめ

大多数の学生がiPadの利用による講義・実習に満足しており, 1学年時からの使用を希望する意見もあった。今後, iPad利用の教育的効果を判断するための検討を開始するとともに, 配布教材の数的増加と質的向上を図って行きたい。